

PIERCE

神奈川の海を守り、地域に貢献するライフセーバーによる情報誌

Hawaiian Junior Lifesaving Seminar 2007

Lifesaving for life starts now.



神奈川県ライフセービング連盟に加盟のクラブ(順不同)

- | | | |
|-----------------------|----------------|----------------------|
| ■横浜海の公園サーフライフセービングクラブ | ■二宮ライフセービングクラブ | ■西浜サーフライフセービングクラブ |
| ■三浦海岸サーフライフセービングクラブ | ■辻堂ライフセービングクラブ | ■湯河原ライフセービングクラブ |
| ■茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ | ■葉山ライフセービングクラブ | ■サーフ90ライフセービングクラブ |
| ■湘南ひらつかライフセービングクラブ | ■逗子ライフセービングクラブ | ■東海大学湘南校舎ライフセービングクラブ |
| ■鎌倉サーフライフセービングクラブ | ■大磯ライフセービングクラブ | ■専修大学サーフライフセービングクラブ |
| ■文教大学ライフセービングクラブ | ■玉川ライフセービングクラブ | ■鎌倉ライフガード |

VOL. 11

JLAK 10th Anniversary

PARTY in FUJISAWA



日本ライフセービング協会 神奈川県支部設立十周年記念パーティー

10月27日(土)支部設立十周年記念パーティーが、片瀬海岸新江島水族館横のレストラン「イルキャンティ」にて開催された。当日は午後から台風20号の影響で風雨の強まる中、山本捷雄横浜市長、JLSA小峯理事長をはじめ、県支部とゆかりのある多数の来賓、県内クラブの代表、支部役員等、総勢700余名が集まり、和やかなパーティーとなった。

加藤道夫支部長挨拶の後、山本市長、小峯理事長からのご祝辞、米重厚木基地内プール監視業務を受託していること、お招きしたケン・ニコル氏(U.S. NAT Atsugi MWR Athletic Director)による乾杯へと続いた。冒頭の支部長挨拶、そして四つ、そして多くの来賓の方々によるお話の中、今夏のお話の中で、地川河口での事故により、地元中学生2名の命が奪われたことに触れ、今後、プロフェッショナルライフガードの常駐、



供達への教育活動への取り組みが必須であり、「神奈川がそのリーダーシップを」という力強いエールをいただいた。

窓の外の激しい風雨を忘れて、会場内では料理と歓談で盛り上がる中、プロシロコポスターでもある河村正美さんのライブが始まり、相方の龍磨さんとの演奏は、70〜80年代の懐かしいナンバーもあり、中年組を楽しくさせてくれた。更に会場にも越えたいたいたいたいたいたいと、ド&パターの岩沢さんがステージに呼び出され、西浜ライフガード時代の先輩後輩の仲である金子邦親、JLSA前理事長との思い出話のあと、急遽、河村さんとのデュオを聴かせてくださった。

パーティーの締めくくりには、県支部に対し長年にわたりお力添えをいただいた、神奈川県水泳連盟、米重厚木基地内のMoral, Welfare and Recreation課への感謝の意を表し、記念の盾を贈呈し、それぞれを代表して安永鏡技委員長、ケン・ニコル氏にお言葉をいただいた。

神奈川県支部では、県内クラブへの広い意味でのサービスマン提供に努めるため、理事会事務局が一丸となり活動している。また、本協会も意見を交わしながら、他地域での支部設立にむけての、助を担うべく、支部のあるべき姿を求め、月1回の理事会では活発な意見交換が行われている。初夏の海での競技大会、秋の室内選手権ともに、年々、出場者が増え、運営スタッフはタイムスケジュールに頭を痛めるほどに大きな大会に育ってきている。児童・生徒達への水辺の安全教育というフィールドでは、公共機関からの協力要請も増え、我々に寄せられる期待は大きくなっている。

県内クラブの会員としてライフセービングを志すすべての方々の熱意と、県支部がこの十年の歩みによって得た知恵と信頼を用いて、我々の活動に賛同し支えてくださる周囲の方々と共に歩む次の十年には、山積み課題と、そして大きな可能性があることあらためて考えさせられる機会となった。

K-LI 理事 相澤千春



波乗りおじさん 潮の香り Letter of Tide



今年の夏は、海水浴場以外の水の事故が多く発生しました。とりわけ引地川やかなめ川河口の小中学生の事故

はカレントの危険性を知っていたら防げたはずの事故なので、とても残念であり、私のみなさん多数のライフセーバーが胸を痛めたはず。あるとき不安になって小学生の三女にスイムテストをしたら、なんと100mも泳げませんでした。上の子どもたちが泳げたので少し安心しましたが、急速近くプールで特訓することになり、3回目ようやく人の身体は水に浮くことが感じられたよう、何とか20m泳げるようになり、また半分は泳ぎができてきたようになって欲しいもの、学校によって差があるとは思いますが、三女が通っている公立の小学校の水泳授業では、いつも水遊びをするだけで、泳力別で水泳を教えることなどは、はい、そうです。これでは泳げないのも理解ができません。

事故を未然に防ぐ教育を

県連盟では、アメリカ大使館の職員住宅に付設されている温水プールのライフガード業務を受託することになりました。ある夏の日、接誘に行くと、ちょうどメインランドの大学生の女の子が、サーフィンのプログラムとして、4〜6歳ぐらいのキッズに熱心に泳ぎを教えていました。アルバイトを兼ねつつ、日本に来て教えることで大学の単位が取得できるのだそうです。

小学校の先生に、1人で30人前後の子どもに水泳を教えるのは無理な注文です。安全性が言えれば無茶です。そこで文部科学省や大学には、教職課程や保育課程の大学生に多少の謝礼を払いつつ、単位を取得するために小中学校でぜひ水泳を教えられるように改善して欲しいと思います。また泳力に優れた生徒には、地元のライフセーバーがセルフェスキュー、CPR、救急法などを教えられることも有意義だと思います。

水の事故が多いのは、弱れた本人の泳力不足もあり、事故防止を考えたライフセービングの多きから、10月には県の教育委員会、保健体育課からも、県内の各小中学校において、水の事故防止を図るための授業時間を設けたら、協力してもらえないか?との相談を受けました。

私たちに課せられる新たなミッションとは?

7月と9月に茅ヶ崎市の公立中学校の依頼により、水の事故防止を含めたライフセービングに関する授業を行っています。また水の事故の多きから、10月には県の教育委員会、保健体育課からも、県内の各小中学校において、水の事故防止を図るための授業時間を設けたら、協力してもらえないか?との相談を受けました。

県下の各ライフセービングクラブは、みな事故防止のための知識、技術、海知識、蘇生法、救急法の指導とともに、水泳指導についても協力ができるはず。ライフセービング発祥の地である神奈川県において、我

々に新たなミッションが課せられようとしています。しかし、その先には必ずやライフガードの誕生があるはず。子ども達への指導はとても大切(写真は6月に行われたJr.ライフセービング)。



下の子泳げるようになって一安心。あなたのお子さんは?
KLF理事長 加藤道夫

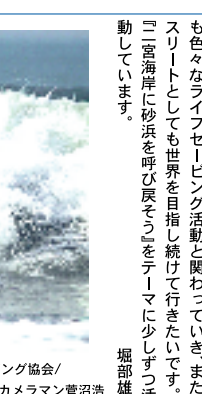
スリットボイス Vol.03

自然を相手にしたライフセービング活動をしています

今年も一年が終わろうとしています。私にとってライフセービングを通してさまざまな体験をする事になり、忘れられない年となりました。ライフセービングを始めて6年目で、これがライフセービングなんだ!と実感しています。

国際大会では日本代表として、全豪派遣や三洋物産インターナショナルカップに出場しました。世界レベルの選手たちと同じスタートラインに立った時は素直に嬉しかったです。私がこのような場に立てたのも伝統ある二宮LCで活動し続けたこと、偉大な先輩方のおかげだと思っています。

同時に二宮海岸も消失してしまつたのです。私たちがほんの1週間前までそこへ海水浴場の監視もしていた活動場所だったので、最初は地元の方々にはもちろん、誰もが目を疑いショックを受けました。



提供: 日本ライフセービング協会 / 撮影: JLAオフィシャルカメラマン菅沼浩

堀部雄大(24歳)
二宮ライフセービングクラブ
大会成績
□2007年全豪出場
□三洋物産インターナショナルライフセービングカップ2007出場
□神奈川県選手権大会
ボードレース 優勝 スキーレース 優勝
□全日本選手権大会
ボードレース3位 アイアンマンレース 6位

二宮海岸に砂浜を戻しましょう!
9月初旬に関東を直撃した台風9号の被害により、神奈川県二宮海岸の砂浜が無くなってしまいました。私たちは袖が浦海岸に砂浜を戻したいと考えています。また、袖が浦海岸に砂浜を戻すまでの期間、隣の柁沢海岸に人が集中することが危惧されるため、海水浴場の必要性も考えています。皆さんのご意見をお聞かせください! 私たちの活動に協力して下さる方を募集しています。

二宮海岸に砂浜を戻す会
代表: 西村 直人(二宮ライフセービングクラブ)
URL <http://www.geocities.jp/seisyou238/>

頭を鍛え、技を磨きましょう！！

みなさん、お元気ですか？ ライフセービングに関する資格については、どんな資格を取得しましたか？ベーシック、アドバンス、CPR(心肺蘇生法:以下CPR)、赤十字の救急法・水上安全法、消防の普通救命・上級救命、小型船舶、中には気象予報士！なんて方もいらっしゃるのでは？

これから、だんだんと寒くなり、「海に入るのもちょっと…」と思っている人はいませんか？「そうそう、暖かくなるまで、オフシーズン！オフシーズン！！」なんて考えている人もいませんか？だめだめ、ライフセーバーにオフシーズンはありません！

秋から冬、冬から春にかけては知識や技術を身につけてみませんか。身体だけではなく頭を鍛え、技を磨きましょう。JLAの資格はもちろんのこと、いろんな団体の資格講習会にレッツ・チャレンジ！来夏は今より高いフィットネス、質の高い知識・技術でパトロールに望みましょう。

今年度のインカレ、全日本では「CPR(G2005)+AEDの使用の方法」について、選ばれた選手に対し課題が出されました。結果はいかがでしたか？現在、一般市民(ライフセーバー含む)に対して「CPR及びAEDの使用」が期待されており、ベーシック、アドバンス資格取得者は、CPR講習会(更新講習)、他団体の資格講習会を受講しなければ「CPR(G2005)+AEDの使用の仕方」について学ぶ機会がありません。場合によっては〇〇先輩と〇△さんと心肺蘇生法の手技が違ふ、なんてこともあり得ることです。

ここで改めて「CPR講習会」を受講してみよう！心肺蘇生法の割合を15:2なんて覚えていた人は必受講！神奈川県ライフセービング連盟では、12～3月も講習会を予定しております。更新講習、CPR講習会を1ヶ月おきに開催する予定です。HP(<http://www.lifesaving.ne.jp/>)をチェックして下さい。積極的な受講者お待ちしております。

講習予定
更新講習会 12/23(日)9:00～12:00
1～3月にも更新講習、CPR講習を実施いたします。
日時につきましては決まり次第HPにUPいたします。

日本ライフセービング協会では今年度4月より新しいカリキュラム、新しいテキストで、「ベーシック講習会」、「CPR講習会」を展開しております。いずれも、G2005対応の心肺蘇生法、講習展開内容や時間配分を見直したカリキュラムとなっております。

また、今年度につきましては、アドバンス講習のカリキュラムの見直しを行っております。アドバンス講習についても、来年度から新たなカリキュラムで展開されることが予想されます。ご期待を、そして受講してみましよう！！

KLF理事 内田直人

私とライフセービング



1942年12月9日横浜市鶴沼海岸で生まれ、片瀬西浜海岸は自宅から徒歩で5、6分のところにあった。子供の頃から仲間と共に、砂浜で太陽の沈むまで遊んだものだ。

その頃(1947年)海水浴場は江ノ島東浜海水浴場と鶴沼海岸だけで、西浜は海水浴場として開設されておらず、西に霊峰富士を仰ぎ、東には緑の江ノ島を頂く相模湾を一望し、沖には伊豆大島、右手には烏帽子岩、砂浜も広く松の木が海岸線に沿って生息していて、とても風光明媚な海岸であった。私はそのような環境の中で少年時代を過ごした。

その後、日本赤十字社の水上安全法救助員、救急法救急員の資格を取得し、西浜海岸で1961年ライフセービングの活動が始まった。当時は警備員と呼ばれていた。救急器具はリングライフ、ターベットブイ、ロープ、ボートなどしかなく、いろいろと救助器材を試作したものであった。

事故、けがが多発した西浜海岸はマリンスポーツの発展の地となっていた。夏のリゾートだけでなく、年間をとおしてのライフセービング活動が不可欠となっていた。

湘南指導協会、そしてライフガード協会、日本ライフセービング協会と発展した。豪日交流基金、神奈川県、日本赤十字社の支援により1984年第1回目のオーストラリア・サーフライフセービング協会での研修を受け、Surp Bronze Med-alliomを獲得して帰国した。

1961年から現在2007年の間ライフセービングに携わってきた。だから私はこよなく海を愛し、私のLife Workである。そしてサーフライフセービング協会でもある。

海岸は国民の共有の財産。大切に使い、人と自然が調和し共生する場所として、次世代の子供たちに残していきたいと思う。

前日本ライフセービング協会理事長 金子邦親

ライフセービングクラブ紹介



横浜海の公園ライフセービングクラブ

私たちがホームビーチとする「海の公園」は、横浜市唯一の海水浴場で、都心からのアクセスも良く、年間を通して多くのお客様が来園されます。遠浅で波がない海の公園には、波のある海とは違った危険が存在します。干潮時の潮干狩りによって出来た穴だらけの海底は、潮が満ちてもなかなか均(なら)されません。そのため、満潮時に局所的に残る深みにはまり、パニックを起こす遊泳者が多いのです。「波が無い＝安全」と、油断されてしまうところが私たちの海における最大の危険要素です。

もう一つの特徴は、幅800m、奥行き200mの広大な遊泳区域です。ここで安全を守る難しさは毎年痛感させられますが、来園者との密なコミュニケーションが重要と考え、監視台や水上バイクによる監視に加え、腰の深さまで入水し、声かけを行う「コミュニケーション重視のパトロール」を実践しています。このパトロール形態に、人と人のつながりを重視する「海の公園らしさ」が表れているように思います。

また、私たちのクラブでは、ゴールドウィンとのパートナーシップの下、年間を通じたジュニアライフセービングプログラムも積極的に進めています。今年も約100名の未来の仲間たちがプログラムに参加し、安全に関する知識を楽しく学んでもらうことが出来ました。創立20周年を迎え、来年からは我々クラブ員の子供たちもジュニアとして活動に参加してできるようになります。

こうしたクラブとクラブ員のつながり「環」を、今後も大切に育てていきたいと思っています。海に集う人々がライフセービング活動を軸に、互いに助け合って安全な水辺の環境が構築されることを目指して、また様々なマリニアクティビティとのコラボレーションに力を入れて、地域密着型のクラブ活動を更に盛り上げ、邁進していきたいと思っています。

横浜海の公園ライフセービングクラブ
パトロールセクションリーダー 余語俊一

The 9th 神奈川県ライフセービング選手権大会2007

過去最高の参加選手、絶好のコンディションで迎えた'07神奈川県ライフセービング選手権大会。辻堂海岸で大会を開催することは初めての試み。準備は手探りの状態でしたが、クラブを挙げて取り組みました。ホストクラブとして、選手の方々に心地よく辻堂海岸を利用して頂く為に、地元サーフショップを一軒ずつ回ることから始まり、大会運営においては、西浜SLSCから多大な協力を頂きました。

今回大会を辻堂海岸で行った事で、運営の難しさは当然のこと、クラブ間の繋がりが、地元との繋がりの重要性、必要性を強く感じました。神奈川県ライフセービング選手権大会がきっかけになって、神奈川県下のクラブが今以上に一つになれば、とても意義のあることだと思います。最後になりますが、協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。

辻堂ライフセービングクラブ 秋田一樹



男子競技結果	女子競技結果	マスターズ競技結果	ジュニア競技結果
サーフレース 1位 青野武士 茅ヶ崎	サーフレース 1位 伊藤彩香 日大	ビーチフラッグス 1位 田村浩志 新島	ビーチフラッグ・低学年 1位 吉本彩乃 湯河原
アイアンマン 1位 長竹康介 西浜	アイアンマン 1位 中曾根真世 九十九里	サーフレース 1位 竹谷光広 鏡子	ビーチフラッグス・高学年 1位 室伏佑那 湯河原
サーフスキーレース 1位 堀部雄大 二宮	サーフスキーレース 1位 鈴木郁蘭 新島	ボードレース 1位 田村浩志 新島	ビーチフラッグス・中学生男子 1位 朝倉東 湯河原
ビーチフラッグス 1位 猪川賢史 式根島	ビーチフラッグス 1位 田中和 海の公園	オープン競技結果	ビーチフラッグス・中学生女子 1位 鈴木茜 湯河原
ボードレース 1位 堀部雄大 二宮	ボードレース 1位 鈴木郁蘭 新島	ビーチフラッグス 1位 小出大祐 神津島	サーフレース・低学年 1位 小山航季 西浜
2kmビーチラン 1位 本田吉紀 茅ヶ崎	2kmビーチラン 1位 中島和美 TATEYAMA		サーフレース・高学年 1位 伊藤大哲 西浜
団体競技結果			サーフレース・中学生男子 1位 朝倉東 湯河原
レスキューチュールレスキュー 1位 西浜SLSC			サーフレース・中学生女子 1位 坂本佳風子 湯河原